



府議会(10月16日) 府民文化常任委員会 知事質問



デジタルを活用した高齢者の生活支援・健康増進サービスについて

うつみ質問(要旨)

次世代スマートヘルス(※)は、利用者の生活習慣をデータ収集し、それをもとに病気の予防、治療を医師の適切な診断やアドバイスのもとで行うことが可能で、QOLの向上 社会保障費の抑制、経済成長にも貢献するもの。

大阪府の重点分野として
取り組むべきではないか。

知事答弁(要旨)

世界的にも希少な治療・予防アプリといった次世代スマートヘルス分野に特化したファンドと、産官学連携で支援を担うラウンドテーブルといった両立での基盤を最大限に活かし、府として、これら取組みを加速・強化することで、次世代スマートヘルス分野のスタートアップ支援拠点としてのプレゼンスを世界に示していく。

ヘルス産業スタートアップ創出



※次世代スマートヘルスとは
治療・予防アプリなど、デジタル技術を活用した府民の健康づくり促進に寄与するヘルスケアサービス。

府民文化常任委員会質疑(10月10日)



質問(要旨)

アーティストや文化芸術団体等への支援が今後も必要ではないか。文化芸術活動支援補助金について伺う。

理事者答弁(要旨)

単年度事業として予算措置をしているが、国・他自治体の状況も注視しながら、今後のあり方について判断してまいる。

質問(要旨)

こども達への文化芸術の鑑賞・体験機会の創出について伺う。

理事者答弁(要旨)

今年度も引き続き、様々の機会を通じて子どもたちが文化芸術を鑑賞・体験できるプログラムを検討実施してまいる。

質問(要旨)

DV防止基本計画策定について取り組みを伺う。

理事者答弁(要旨)

府内市町村はじめ関係部局と連携し取り組む。(被害者に寄り添った支援を求めた)

質問(要旨)

性の多様性の理解増進について伺う。

理事者答弁(要旨)

今後ともあらゆる機会を活用し、人権相談窓口の周知に努めるとともに、府民の理解増進を図る取り組みを進めてまいる。



福祉施設等従事者へのギフトカード配付が実現 私立高校等授業料無償化制度のさらなる改善を 令和5年9月定例会で大橋議員(政調会長、枚方市選出)が代表質問



▲代表質問する大橋議員

福祉施設等従事者へギフトカードを配付

●物価高が家計に深刻な影響を及ぼす中、公明府議団は8月、国の「地方創生臨時交付金」を活用した物価高対策の実行を府に強く要請。福祉施設等従事者へのギフトカード配付事業(第2弾)の実施が決定しました!



最新情報はコチラ

大阪府社会福祉施設等従事者支援事業(第2弾)



【対象者】

介護・保護施設・障がい児者施設・児童福祉施設等の従事者
(令和5年4月1日~12月1日に10日以上勤務など諸条件あり。公務員は対象外)

【金額】

対象者に2万円相当のギフトカード

【申請方法・期間】

原則、施設等を通じて申請
(令和5年12月上旬~翌1月中旬を予定)

【配付】

原則、施設等を通じて配付
(令和5年12月中旬~翌2月上旬を予定)

私立高校等授業料無償化制度を修正 公明府議団 改善をリード

●5月の制度素案では、授業料無償化の所得制限が撤廃される反面、私学側の負担が大幅増となり、「教育の質の低下」が懸念される内容となったため、私学や保護者から反対の声が大きくあがりました。

●平成22年度の制度創設時から一貫して拡充をリードしてきた公明府議団は、当事者との意見交換を踏まえ、府に制度改正を要請。今議会に無償化と教育の質の両立をめざした修正案が提示されました。

●この修正案に対し、大阪の私立高校は制度参加を表明したものの、他の近畿の私立高校は全く見通しが立っていません。今後も「広域通信制高校への制度拡充」や「授業料の保護者による一時負担の解消」など、公明府議団は現場の声からの改善に全力で取り組みます。

「私立高校等授業料無償化制度」の詳細はコチラから▶



・討論より・

奨学金返還支援制度 若者・企業の負担を軽減

●公明党の青年アンケート「Voice Action」でも多くの「いいね」をいただいたのが、奨学金の返還支援です。

●公明府議団の提案を受け、府は奨学金返還支援制度を導入した中小企業(1,000社)に補助金を交付し、奨学金を返還しながら働く若者への負担を軽減する事業の創設が決定しました。一過性ではなく、支援の継続実施を強く求めました。

乳幼児医療費助成 市町村支援を拡充すべき

●市町村が高校3年生までの拡充に取り組む中、府の支援は都道府県最低水準にとどまっています。府は市町村からの切実な要望を真摯に受け止め、支援を拡充すべきと訴えました。

府営住宅の保証制度 廃止へ条例改正

●単身高齢者等が増える中、府営住宅の保証人確保が困難となっていることから、保証制度の廃止を要請。府は「令和5年度中の条例改正をめざす」と明言しました。

トピックス

子どもたちを万博へ無料招待

公明府議団が令和2年2月定例会から提案。今議会で実施が決定しました!

【対象者】

入場券が必要となる4歳以上の子ども

- ①府内の小・中・高校生・・・学校単位で1回招待
- ②府内在住の4・5歳児や府外の学校への通学者等
・・・各家庭等からの申請で、入場券を1枚配付

※今後、市町村と連携・協力した複数回の招待も、市町村と調整しながら検討されます。

公明党大阪府議会議員団ホームページはこちら。

▶ <http://www.komei-fu.com>

